

家畜衛生広報



ながの

令和6年(2024年)5月13日

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665

入牧前の検査について

～必要な検査はお早めに～

公共牧場では、入牧前に牛伝染性リンパ腫(EBL)、牛ウイルス性下痢症(BVD)検査を条件としている場合があります。伝染性疾病のまん延防止のため、適切に検査を実施し、入牧させましょう。

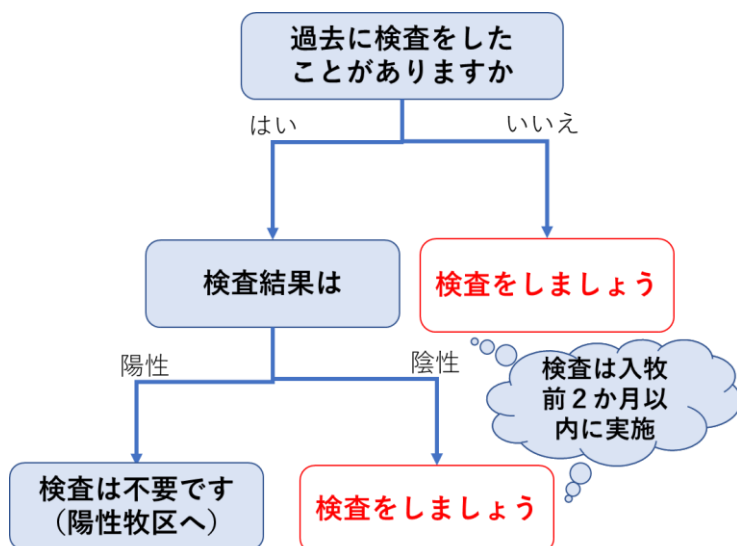
どうして検査が必要なの？毎年検査をしないとダメ？
入牧予定牛の過去の検査記録を確認しましょう！



牛伝染性リンパ腫 (EBL)

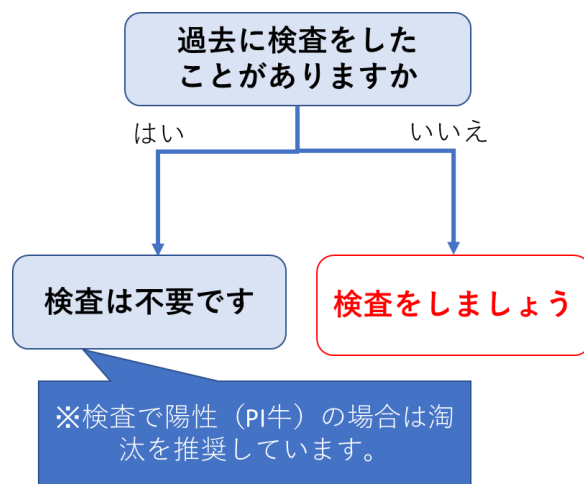
吸血昆虫によるウイルスの伝播を防ぐため、陽性牛と陰性牛の牧区を分けています。

一度陽性になるとウイルスが体内から消えることは無いため、陰性牛のみ入牧前の検査が必要です。



牛ウイルス性下痢症 (BVD)

胎仔の時期に感染し、ウイルスを排出し続けてしまう持続感染牛(PI牛)を摘発するために行います。一度検査で陰性が確認されていれば、再度検査をする必要はありません。



家保での検査実施日は決まっているため、少なくとも入牧2週間前には検査依頼をお願いします！

不明な点は、お気軽にお問い合わせください。



消毒は伝染病予防の第一歩

